

研究分野のキーワード：教授学習，子どもの思考，子どもの数理解，認知心理学

#### 研究紹介

教室でどう教えるかどう学ぶかという学習支援について、教授学習心理学の視点から研究をしています。教授学習の中でも、主に子どもの数理解について研究を行なっています。子どもは日常生活の中で、さまざまな知識を習得しています。これをインフォーマルな知識とよんでいます。こうしたインフォーマルな知識は、学校で公的に教えられる前に既に獲得しているのです。例えば、小学校に入学する前から、幼児は数を唱える数唱を用いて簡単な足し算や引き算を行なうことができます。また、分数の簡単な意味としていくつかに分けるということについて、日常生活のなかで理解することができます。さらに、割合について、小学5年生で公的に学習する前の4年生でも、120%とはどのようなことなのかとか、20人乗りのバスで25%の人数について尋ねる問題でも5割ほどの子どもは正しく答えることができるのです。

こうした子どもが日常生活でインフォーマルに獲得している知識は、公的に学校で学習する際に強い影響を与えています。インフォーマルな知識や子どもの思考を取り入れた教授介入が、どのように学習支援に効果的であるかについて研究しています。